

6 福岡市を取り巻く状況

(1) 福岡市のあゆみ

〈古代～近世〉

- 日本列島の中でも朝鮮半島や中国大陸に近いという地の利に恵まれた福岡市のあゆみは、常に「海」と共にあり、後漢と倭の奴国の親交を示す「金印」の出土や唐や新羅からの使節を接待・宿泊させる外交施設であった「鴻臚館」にも象徴されるように、古くから大陸と結ばれた人と文化の往来の中で発展してきました。
- 平安時代末期には、平清盛が日本初の人工港である「袖の湊」を博多に築いたといわれ、日宋貿易の拠点として繁栄したことで、栄西をはじめとした多くの著名な僧侶が博多に宋文化を伝えるなど、アジア有数の国際都市として栄えました。
- 以来、江戸時代初期に至るまで、博多は、アジアとの国際交流の拠点都市として、その地位を確立し、「博多の三傑」などの豪商に代表される博多商人達は、朝鮮半島、中国はもちろんのこと、タイ、フィリピンといった東南アジアにまでその経済活動の範囲を広げ、そのような博多商人達の進取、自由、自治の精神によって中世博多は大いに発展を遂げました。
- 1600年、黒田長政が藩主となり、翌年から福岡城の築城が開始されました。これにより「福岡」という城下町が誕生し、その後福岡・博多の双子都市として発展してきました。

〈近代以降〉

- 福岡市は、1889年(明治22年)に公布された「市制及び町村制」により誕生しますが、その当時の人口規模は、九州では鹿児島市、長崎市に次ぐ3番目の都市でした。その後、中央官庁をはじめ、東京や大阪に本店のある会社などが、福岡市に次々と進出し、支店を設置するようになりました。1911年(明治44年)には、九州帝国大学が創立しています。このように、中央官庁の出先機関や帝国大学の誘致に成功した福岡市は、次第に九州の中核都市としての機能を担うようになっていきました。
- 1899年(明治32年)には博多港が対外貿易港として開港、1936年(昭和11年)には雁の巣国際飛行場が開設されました。また、戦後、1951年(昭和26年)に博多港が最重要港湾に指定されるとともに、福岡空港の民間航空路線が開設、さらには1975年(昭和50年)に博多駅に山陽新幹線が開通したことで、広域交通の拠点性も向上し、九州経済を牽引していく都市としての役割が高まっていきました。

- 1972年(昭和47年)に政令指定都市となり、1975年(昭和50年)には市の人口が100万人を突破するなど急激な人口増加が進む中、福岡都市高速道路の開通や地下鉄空港線の開業などにより、都市基盤の整備を進めてきました。
- 近年では、地下鉄七隈線の開業、九州新幹線鹿児島ルートの特急全線開通、福岡都市高速道路環状線の完成などにより、市民生活や都市活動を支える基盤整備が行われたほか、アジア太平洋博覧会をはじめ、アジア太平洋子ども会議、アジアマンス、福岡アジア美術館の開設などのアジア施策を推進し、アジアの交流拠点としての国際都市づくりに取り組んできました。

今後、これらの財産とこれまでのアジアとの交流により蓄積された福岡市の歴史、文化、豊かな自然などの魅力にさらに磨きをかけ、生かしていくことが求められています。

年表

	西 暦	主な出来事
古代 〜 近世	紀元前4世紀頃～	板付遺跡 [大陸から稲作技術をいち早く導入]
	紀元前2世紀 ～紀元前1世紀	吉武高木遺跡 [最古級の王墓、クニの萌芽]
	57年	奴国王が後漢に朝貢し「漢委奴国王」の金印を授受
	536年	大和朝廷が那の津の口に「那津官家」を設置 [九州を統括する大宰府の前身]
	7世紀後半～	筑紫館(後の鴻臚館)を設置 [日本初の迎賓館、その後貿易拠点に]
	11世紀後半 ～12世紀	貿易拠点が鴻臚館から博多へ移行 [日本初のチャイナタウン、博多の国際都市化]
	1274年、1281年	文永の役・弘安の役(元寇防塁を築く) [九州の軍事、政治、貿易の拠点化]
	1401年	博多商人肥富の勧めにより足利義満が遣明船を派遣し、日明貿易が開始
	1587年	豊臣秀吉、博多の町割りを命じる [博多の復興]
1601年～1607年	福岡城築城 [福岡と博多の双子都市誕生]	

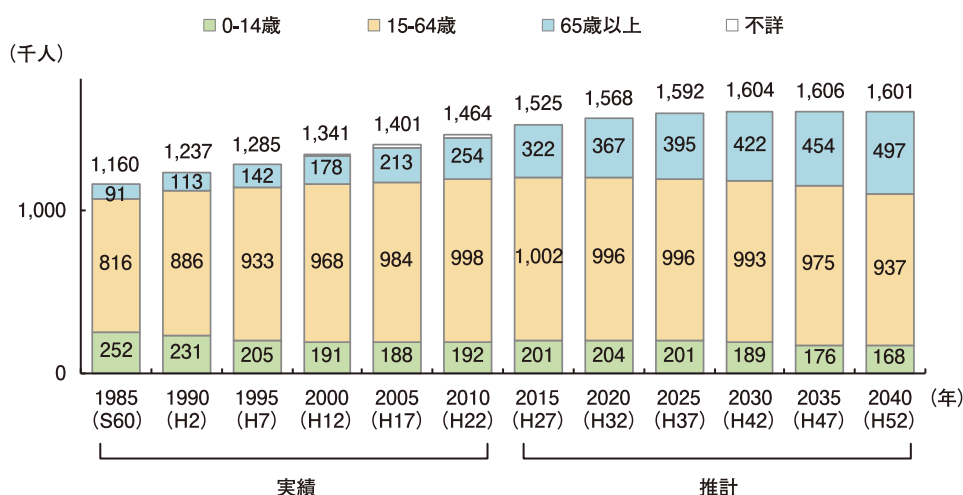
	西 暦	主な出来事
近代以降	1889(明治22)年	福岡市の誕生
	1899(明治32)年	博多港が対外貿易港として開港
	1905(明治38)年	博多～釜山 定期航路開設
	1911(明治44)年	九州帝国大学の創立
	1936(昭和11)年	雁の巣国際飛行場開設
	1945(昭和20)年	福岡大空襲、博多港が海外引揚援護港に指定される
	1951(昭和26)年	博多港が最重要港湾に指定される、福岡空港の民間空港化
	1963(昭和38)年	福岡市民会館開館
	1972(昭和47)年	政令指定都市となり、5区が誕生
	1975(昭和50)年	市の人口が100万人突破、山陽新幹線が博多まで開通
	1978(昭和53)年	渇水のため給水制限(287日間)
	1979(昭和54)年	福岡市美術館開館
	1980(昭和55)年	福岡都市高速道路開通
	1981(昭和56)年	地下鉄空港線開業
	1982(昭和57)年	行政区の再編成により7区制開始
	1983(昭和58)年	筑後川受水開始
	1989(平成元年)	アジア太平洋博覧会「よかトピア」開催
	1990(平成2)年	「アジア太平洋都市宣言」制定、アジアマンス開幕、福岡市博物館開館
	1993(平成5)年	博多港国際ターミナル開設
	1995(平成7)年	ユニバーシアード福岡大会開催、マリンメッセ福岡開館
	1996(平成8)年	福岡市総合図書館が開館
	1999(平成11)年	福岡都市高速が太宰府ICへ接続、福岡アジア美術館開館
	2003(平成15)年	福岡国際会議場開館
2004(平成16)年	町世話人廃止、自治協議会制度導入	
2005(平成17)年	地下鉄七隈線開業、福岡県西方沖地震発生、アイランドシティのまちびらき、九州大学伊都キャンパスへの移転開始	
2011(平成23)年	九州新幹線鹿児島ルート全線開通	

(2) 現状と課題

① 人口

- ・ 福岡市の人口は、2010年(平成22年)の国勢調査で約146万4千人であり、前回調査時点の2005年(平成17年)と比較して、4.5%増加しています。
- ・ また、65歳以上人口は総人口の17.6%と、前回より2.2ポイント上昇しており、高齢化が一段と進んでいます。
- ・ 今後減少していくことが見込まれる日本全国や九州などと異なり、福岡市の人口は、転入超過(※)による社会増が続くことなどから、2035年(平成47年)頃まで約20年の間、増加が見込まれ、2030年(平成42年)には160万人を超える見込みです。
- ・ 年齢区分別では、生産年齢人口(15歳～64歳)は、全国的には既に減少している中、2030年(平成42年)頃まではほぼ横ばいで推移し、その後、徐々に減少に向かいます。また、年少人口(0～14歳)は2005年(平成17年)頃から増加していますが、2020年(平成32年)頃をピークに減少に向かいます。一方で、老年人口(65歳以上)は継続して増加し、2040年(平成52年)には全体の31%に達します。

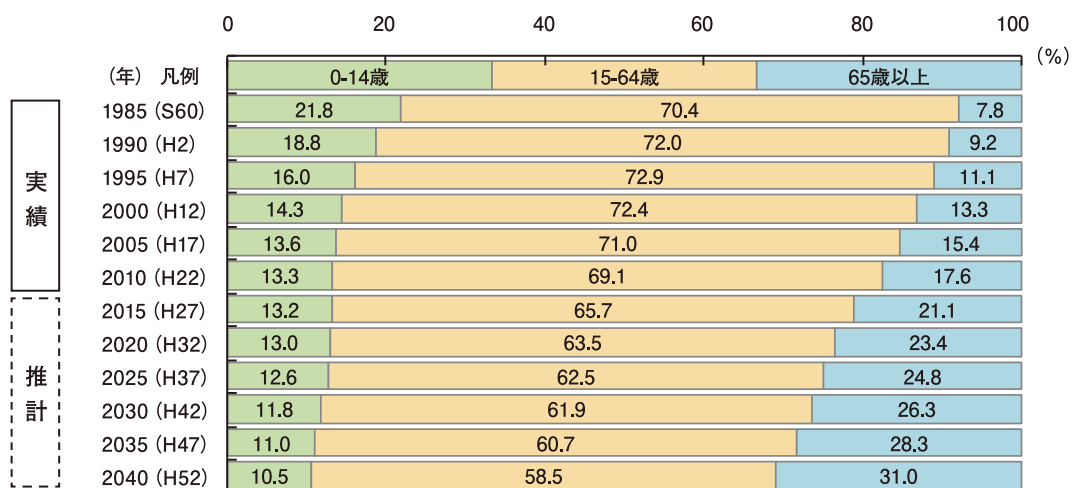
福岡市の人口推移と推計人口(1985年～2040年)



資料:実績…国勢調査、推計…福岡市総務企画局(2012年3月推計)

(※)転入超過：人口動態において、一定期間における転入数が転出数を上回っている状態。

■福岡市の人口・推計人口における年齢構造の変化(1985年～2040年)

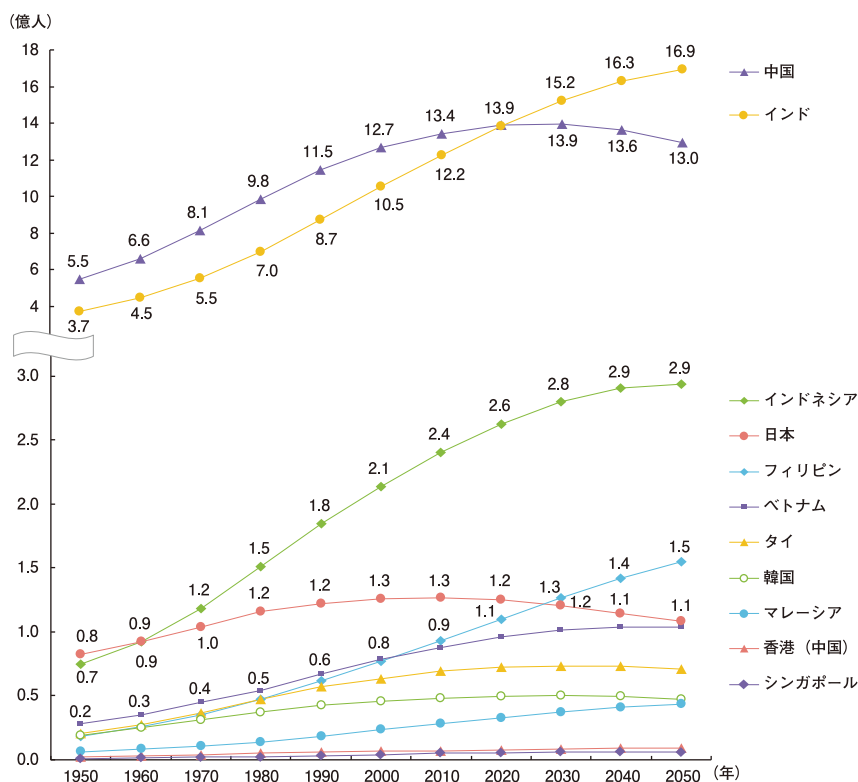


資料:実績…国勢調査、推計…福岡市総務企画局(2012年3月推計)
 (注)実績値の構成算出に当たっては総数から年齢不詳を除外している。

【外部の状況】

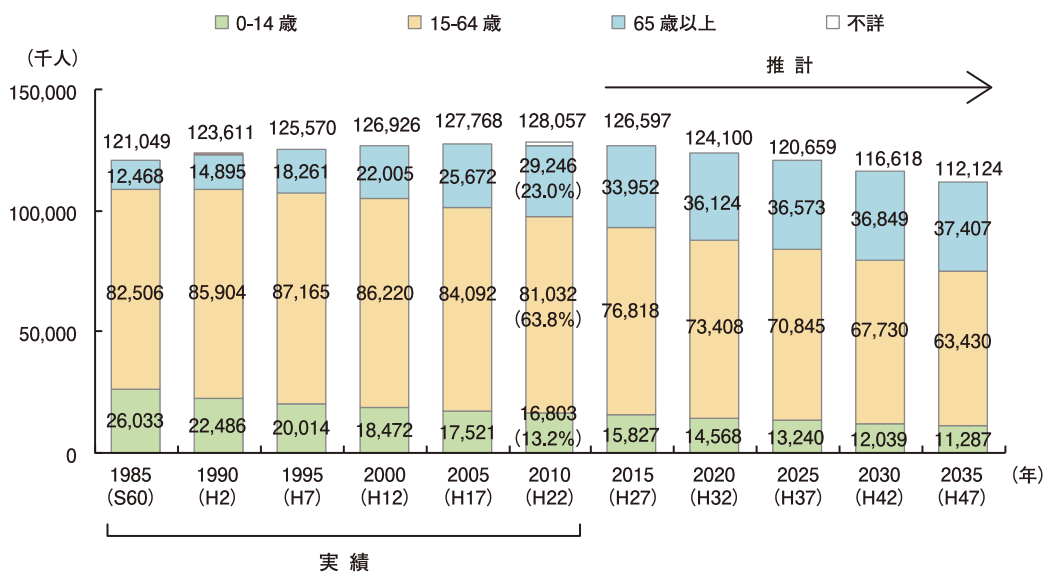
- ・世界の総人口は、2011年(平成23年)10月時点で、それまでの12年間で10億人増加し、70億人を突破しました。また、「世界人口白書2011」(国連人口基金)によると、今後12年間でさらに10億人増加することが予想されています。
- ・アジアでは、中国が13.4億人(2010年(平成22年)時点)と世界で最も人口の多い国ですが、2030年(平成42年)頃に人口のピークを迎えて減少に転じ、中国に代わってインドが2020(平成32年)年から2030年(平成42年)までの間に世界で最も人口の多い国となる見込みです。
- ・日本では、人口減少や少子高齢社会の進展に伴う人口構造の変化がさらに進行し、経済社会に大きな影響を与えることが懸念されています。
- ・九州では、2000年(平成12年)をピークに人口が減少し、全国平均より少子高齢化が進んでいますが、福岡都市圏では、現在も人口が増加しています。

■アジア各国の人口推移と予測(1950年~2050年)



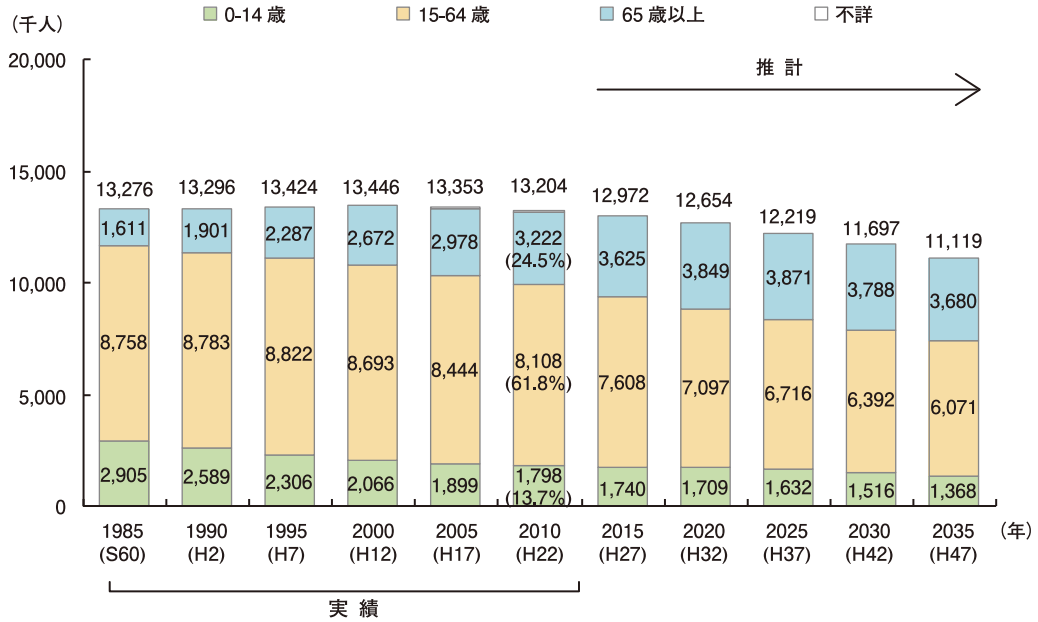
資料：Population Division of the Department of Economic and Social Affairs of the United Nations Secretariat, World Population Prospects: The 2010 Revision, <http://esa.un.org/unpd/wpp/index.htm> For definition of variables, check the link Glossary of Demographic Terms Sunday, February 12, 2012; 11:43:39 PM

■全国の人口推移と推計人口(1985年~2035年)



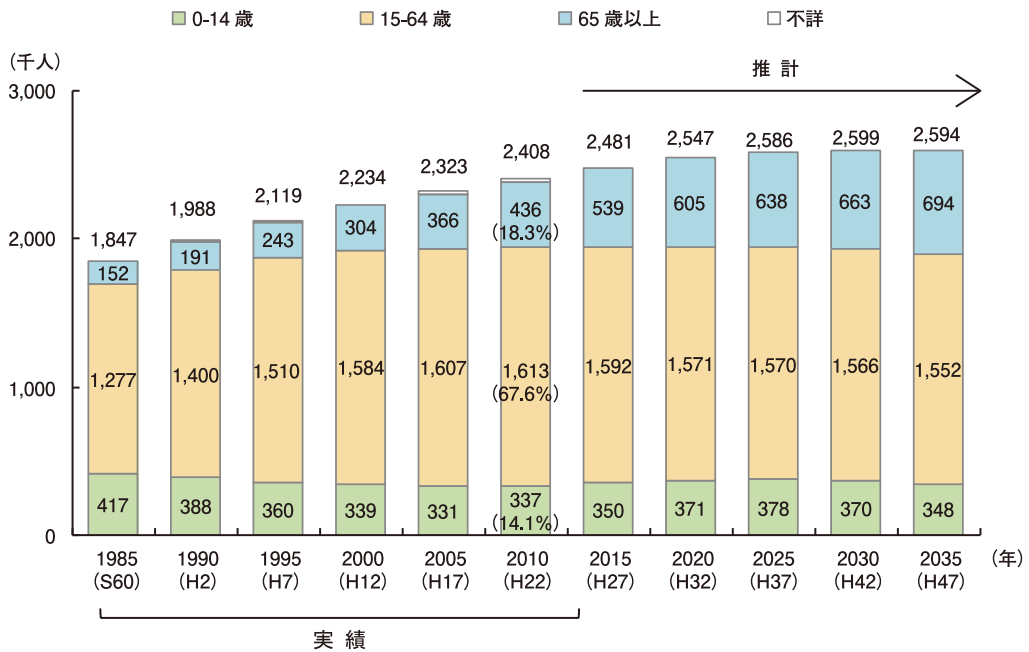
資料：実績…国勢調査 推計…国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計(平成24年1月推計)」
 (注)2010年の()内構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外している。

九州の人口推移と推計人口(1985年～2035年)



資料:実績…国勢調査 推計…(財)九州経済調査協会(2012年2月推計)
 (注)2010年の()内構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外している。

福岡都市圏の人口推移と推計人口(1985年～2035年)



資料:実績…国勢調査 推計…(財)九州経済調査協会(2012年2月推計)
 (注)2010年の()内構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外している。